

最近決まったこと 2015/06/13

- 1 4、日山協中央で開催する、指導委員会、遭難対策委員会、競技委員会、海外委員会、自然保護委員会、普及委員会および国立登山研修所で主催する義務研修会は、中央で義務研修の申請および参加実績入力をおこなう。
- 1 3、競技の本国体、ブロック予選会、ブロック別競技研修会は、義務研修の申請および参加実績入力は中央でおこなう。
- 1 2. 競技会の義務研修について
 - ・規約・規定集の18, 19Pで競技会に参加しただけでは義務研修に認められないため、下記のような義務研修会として申請する。
 - ・国際ルール等に乗っ取った競技会を開催するための研修会を開き参加した場合には、義務研修実績として認められる。
- 1 1. 2015年5月下旬
 - ・1年前の義務研修を申請したら、要修正となりました。
 - 2015年6月以降、義務研修会の1か月前までに申請してください。

以下2014年6月指導員総会で説明済

- 1 0. 2013年4月1日 指導委員会
 - ・主任検定員の有効期間が切れた後の、養成講習会の受講が継続か否かについての見解
有効期限が切れている期間が3年間までは更新とみなしレポート提出はなし。
4年間以上切れた場合は、新規と同等とみなし、レポートを提出していただく
9. 2012年12月26日 日体協よりの指導
 - ・指導者管理システムの義務研修会の申請でWeb告知およびWeb募集は、しないにしてください。
理由
「する」の設定をすると、マイページ上から受け付け申し込みが可能となり、誤ってすると、知らないうちに申込者が増加する事態になってしまいます。
他の競技団体とか、いろいろなところから申し込まれる。
したがって、現在山岳では、都道府県内での義務研修の募集のために
Web募集は、しない設定をお願いします。
8. 研修会の名称は、〇〇研修会として、内容も研修会にしてください。日体協よりの指導
日体協の公認スポーツ指導者の義務研修の条件は
講習会は、講師であること
研修会は、指導者同士が研鑽をするので参加者は全員OKになっているため。

7. 研修時間は、3時間以上でなければなりません。日体協よりの指導
3時間未満の研修会・講習会は、他の研修会をプラスして、3時間以上にして申請してください。

6. 義務研修会申請および委嘱書の終了について

長年行ってまいりました、義務研修会実施申請書および委嘱書の発行は2012年9月をもって終了になります。今後は、日体協の登録管理システムでの義務研修会の申請および承認に置き換わります。

5. 資格辞退・死亡などの処理

資格辞退・死亡の処理は日本体育協会のみで行うこととなっております。しかしながら、現在まだシステムが製作途上のため修正できてしまうのですが、触らないようお願いしております。

「資格辞退・死亡の連絡は本人（家族）から日本体育協会へ直接連絡」というのを基本的な考え方とさせていただいておりますので、下記のコールセンターへ連絡を入れてください。

コールセンター TEL：03-5148-1763（10:00～17:00、土日祝日休み）

4. 指導委員会へ送るメール

日山協で、指導委員会 受信専用のメールアドレスが作成されました

今後、日山協へメールで送っていただくときは、下記の指導委員会 受信専用メールアドレスへ送っていただくようお願いします。

今までは、すべてのメールが混在していましたので、事務局の人に、指導委員会宛のメールを選択していただき1件ごとに転送してもらっていました。

このメールアドレスへ送信いただければ、自動で指導委員会の主要メンバーに転送されますので混乱が解消されますので、よろしくをお願いします。

なお、各種講習会、指導員総会の申請書はFAXでお願いしています。

レポート、その他はメールでOKです。

指導委員会 受信専用メールアドレス: shidou@jma-sangaku.or.jp

3. 義務研修会に承認されなかった研修

(1) 指導者養成講習会の講師を申請したところ日体協よりNGが出たので、今後申請しないようにしてください。

2. 最近指導者登録管理システムで下記のような義務研修が日体協殿により入力されています。この意味を日体協殿に問い合わせ、回答が得られましたので連絡します。

1. 対象義務研修会名：バドミントン・山岳旧システム義務研修受講分

ポイント変動日： 2013/07/18

変動pt数： 4000

義務研修コード： 0001739

質問1：どのような人にこの義務研修を入力しているかの基準

回答：旧登録システムで研修実績をお持ちの指導者のうち、本会での作業において研修実績があるにも関わらず「未受講」と表示してしまっていた方約400名となります。

質問2：義務研修会名にバドミントンが入っている理由

回答：山岳とバドミントンは研修実績の付与方法が同様であり、同じ理由でバドミントンにも漏れが発生していたため処理の都合上、現在の標記となっております。なお、指導者マイページからは見れないように処理してあります。

質問3：変動 pt 数 4000 とは何か？

回答：システム制御上の都合により、便宜的に 4000 点を付与しているだけであり、指導者および団体サイドでは特別な意味はございません。

2. 対象義務研修会名：資格別研修会 2010 年 4 月

ポイント変動日： 2013/06/15

変動 pt 数： 空

義務研修コード： OLD_2010_4_3

質問1：どのような人にこの義務研修を入力しているかの基準

回答：旧登録システムにおいて標記研修会の実績をお持ちの方になります。

質問2：変動 pt 数が空だが、空では義務研修を受講したことにはならないのでは？

回答：標記研修会の実績をお持ちで、変動 pt 数がゼロの方については、研修会の受講時期と資格有効期限の関係で、当該研修会が実績対象期間でない方になります。

(要するに、変動 pt が 0 (空) の人は、有効な義務研修を受けていないために更新できないということになります)

1. 日体協関係

(1) 指導員の受講申し込み時に、スポーツリーダーを受講中の人は、必ず、修了見込み証明書を NHK 学園へ請求してもらってください。

修了見込み証明書がもらえない人は、再度、日体協に NHK 学園の申し込み (共通 I) が必要で費用も再度かかります。

(2) 更新登録は 5 月末日と 11 月末日に締め切り、更新要件を満たしているものには、7 月末日までに、登録更新の案内が届きます。

この案内が来ない人は更新の要件に満たないということで無資格状態になります。

無資格者は国体の監督になれませんのでご注意ください。

以上